# 三重小だより

長崎市立三重小学校
令和5年11月2日　第10号
文責　校長　飯島　由紀

学校教育目標　～ 自ら学び　考え　行動する ～

家庭では

## 親が育つ子も育つ

ココロねっこ10　③学校・PTA行事や地域行事に、すすんで参加しましょう。

子どもたちは、生活体験、自然体験、社会体験等の直接体験を重ねることによって、コミュニケーション能力や協調・協力の態度などの人との関わり方を学び、郷土や他者への思いや、生きる知恵を育み身に付けていきます。

しかし現代の子どもはこのような体験が不足していることが指摘されており、子どもの問題行動等の背景にあるとも言われています。また、子どもたちが日常的に群れ遊びや直接体験の機会を持つことが難しくなっている現状があります。

### ●親が育つ、子も育つ。

このような子どもたちの成育環境において、親自らが学校・PTA行事や地域行事に参加したり、親子で参加することは、身近な直接体験の機会となりますし、親が周囲の人たちと協力する姿は子どもにとって生きた教科書です。

社会の中で他者と協力しながら生きていく力を身に付けることは、子どもの自立のためには欠かせません。

身近な学校・PTA、地域の行事に積極的に参加してみましょう。親同士も新鮮な出会いや楽しさの発見があり、親育ちの貴重な機会となることでしょう。

家庭では

## ネット・電子メディア利用ながさき基準・夜9時まで

ココロねっこ10　④親の責任で携帯電話を持たせるときは、子どもたちを守るためにフィルタリングを必ずしましょう。

### みんなで取り組もう「ながさき基準」

青少年のネットや電子メディアをめぐっては、①SNS等を起因とした事犯の被害や加害、②ネットの特性などを理解していないことから生ずるコミュニケーション上のトラブル、③ネットゲームなどに過度に依存する「ゲーム障害」が、世界保健機関（WHO）の新たな疾病として追加されるなどネットやゲームの依存や長時間利用、また、④電子メディア利用の低年齢化による心身の成長・発達への影響など、懸念される問題が改善される傾向が見えない状況です。

このような現状を踏まえ、長崎県が設置した長崎っ子のためのメディア環境協議会は、県民の理解のもと、青少年のネット・電子メディアの利用に一定の基準を定める「ネット・電子メディア利用ながさき基準・夜9時まで」（以下、ながさき基準）を設けることを提案しています。

**「ながさき基準」は、青少年のネット・電子メディアの遊びや楽しみとしての利用を夜9時までとし、ネット・電子メディアの適切な利用と、青少年の心身の成長・発達への悪影響を減少させることを目的としています。**

学校・家庭・地域で取り組みましょう。

○就寝２時間前にスマホ、タブレット等の電子映像画面から離れることが睡眠、脳科学、依存症の研究者等から推奨されています。

○健康的な就寝時刻を高校生でも夜11時と想定し、遊びや楽しみとしての電子メディア利用は夜9時までとしています。幼児や小中学生は、それぞれの年齢にあった就寝時刻を考えて電子メディア利用を終えてください。

○ゲームや動画視聴、アプリ利用など、遊びや楽しみとしての電子メディア利用が健康的な生活習慣や効率的な学習習慣の阻害要因の一つとなっています。

**～よる9じからは、わたしじかん～**

（注）SNSとは、ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略で、インターネット上で他者と相互に文章や画像、動画等のやりとりができる双方向メディアのサービスです。主なものとしてライン（LINE）、ツイッター、インスタグラム、フェイスブックなどがあります。

地域では

# あいさつ・声かけ

ココロねっこ10　⑦あいさつ・声かけ運動を推進し、子どもも大人も顔見知りになりましょう。

## ●心を開く、魔法の言葉

「挨拶」の語源は、中国の有名な仏教書にある言葉「一挨一拶に浅深を見んことを要す」だといわれています。僧侶同士が、言葉のやりとりによって、お互いの悟りの程度を見ていた、ということです。

言葉を通して、自分の心を開き、相手の心を推し量るものが、あいさつだと言えます。

社会生活において、人間関係は避けて通れません。職場や家庭、学校、その他のシーンで関わる人たちと、円満なコミュニケーションを築けるならば、必ずその人の人生は豊かなものになるでしょう。

人間関係の第一歩は、まずお互いの存在を認め合い、言葉を交わすことから始まります。とはいえ、初めて出会う人に自分の思いを伝えることは簡単ではありません。

ところが、「こんにちは」「おはよう」という短い言葉が、自分と相手との距離を一瞬にして縮めてくれます。

そこには、"はじめまして！"、"お目にかかれてうれしいです"、"今日もお元気ですね"などのメッセージがこめられているからです。

わずか数文字の言葉が、コミュニケーションを図るきっかけとなります。たった一言のあいさつで、もう、その関係は前に向かって進んでいきます。

あいさつは、自分の心を開き、相手の心をノックする、魔法のような素敵な言葉なのです。

（常盤幼稚園ホームページから一部引用）

地域では

# あたたかいまなざしを

ココロねっこ10　⑧子どもや子育て家庭を温かく見守り、相談にのりましょう。

## ●人との関わりの中で

子育てを終えた方など家庭に子どもがいない方も、子どもや子育て家庭を見守ってください。

子どもが安心して過ごすことができる地域、あいさつや声かけが自然と交わされる地域、大人同士が地域で協力しあう地域では、そうでない地域と比べて、子どもの社会性が育つと言われています。

また、周囲からのあたたかいまなざしややさしい声かけは、親の子育ての不安や負担を軽減するなど、好ましい影響を与えます。

一方で、幼い子どもを連れた親が、周囲の迷惑そうな視線を感じるなどして、地域の中で子育ての楽しさを感じることができないという調査結果もあります。子育てが孤立した孤育てとなり、親は一層地域との関わりを避けることにつながり、子どもの成長にも影響を与えます。自立に必要な、誠実さ、忍耐強さ、社会性等は人との関わりの中で育まれ身に付けられるものだからです。

保育所・幼稚園・学校では

○楽しい遊びや学び、わかる授業を展開し、たくましく生きる力を育みましょう。

○いじめや仲間外しがなく、安心して園・学校生活を送れるようにしましょう。

企業では

○「ノー残業デー」を設定し、家族のだんらんを応援しましょう。

○学校・PTA行事や地域行事に参加しやすい雰囲気や体制を整えましょう。

長崎県青少年育成県民会議

〒850-0031
長崎市桜町4-1
長崎商工会館9階
TEL/FAX095-824-7510

2021.10

**11月は　長崎県「ココロねっこ運動強調月間」　こども家庭庁「秋のこどもまんなか月間」　です！**